

アクリルウレタン系樹脂塗料

ワニコートエース301

株式会社 佑光社

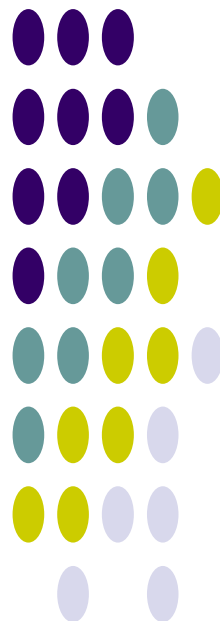
(PARKER GROUP)

〒346-0028 埼玉県久喜市河原井町23-10

TEL 0480(23)1711 FAX 0480(23)4480

E-mail infotoryou@yuko-sha.com

<http://www.yuko-sha.com>



ワニコートエース301

「ワニコートエース301」は、アクリルポリオール樹脂を主剤に難黄変型ポリイソシアネート樹脂を硬化剤とした、2液型のポリウレタン塗料です。プラスチック素材はもとよりメッキ素材、金属素材等に対しても良好な付着性を示します。特にメッキ材においてはその優れた付着性とバリアー性で薬品、人工汗等に優れた耐久性を発揮します。安定した信頼性を発揮する有用な塗料としてニーズにお答えします。

特 徴

- 結晶性樹脂、無機素材を除く殆どの素材に対応可能です。
- エンプラ等、特に繊維素強化プラスチックに適応します。
- 金属素材、各種メッキ素材に対応します。
- 光沢、鮮映性の優れた意匠性を発揮します。
- 乾燥性がよく塗膜に肉持ち感が得られるため塗装作業性に優れます。
- 耐溶剤性、耐薬品性等の2次性能に優れます。

使用用途

- モバイル系通信機器、情報機器（シールドメッキ材等）
- 車両内装部品（意匠性メッキ材等）
- 遊戯台役物部品（意匠性メッキ材等）
- プラズマ、液晶大型TVハウジング（高光沢用途）
- その他プラスチック、軽金属部品



標準塗装仕様書



(1) 素地調整

素材に付着しているゴミ、油分、水分等を適切な方法で除去してください。
特に成型時の離型剤や軽金属類の白錆は塗膜の付着性を低下させます。

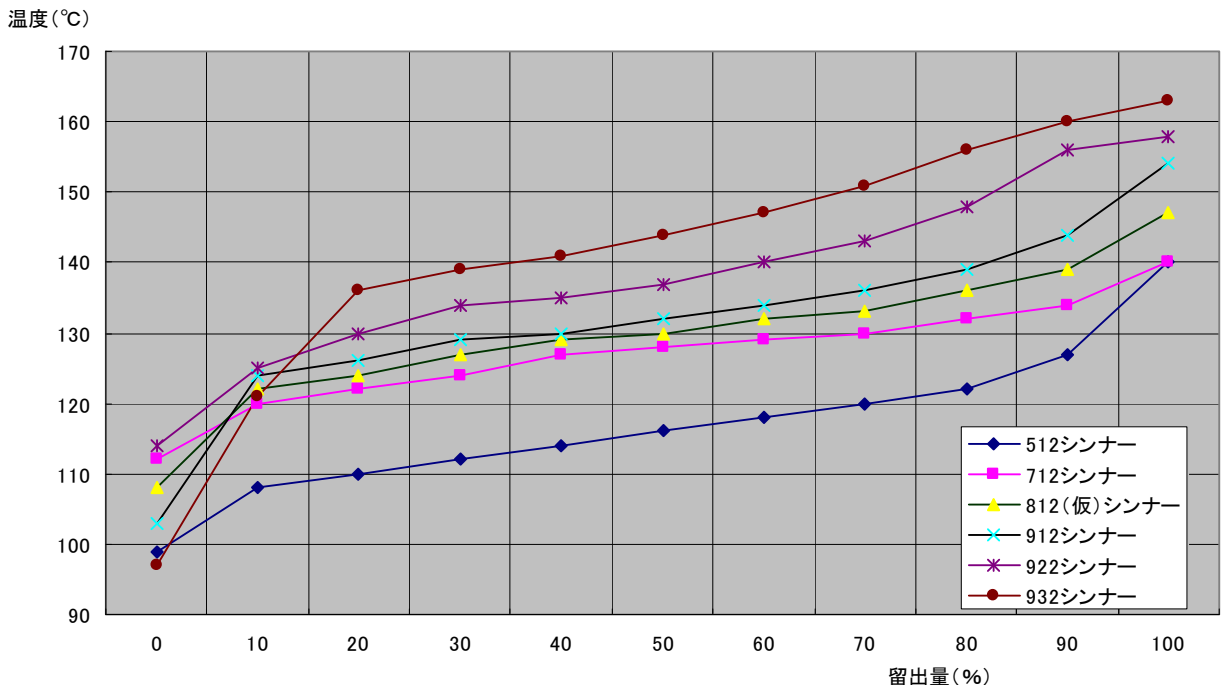
(2) 塗装仕様

- ① 希釈シンナー ; 下記蒸留曲線を御参照ください。
- ② 塗料調合 ; 主剤：硬化剤：シンナー＝4：1：1～2（重量比）
- ③ 塗装粘度 ; 12～14秒（イワタカップNK-2/25℃）
- ④ 塗装方法 ; エアースプレー
- ⑤ ガン口径 ; $\phi 1.3 \sim 1.5 \text{ mm}$
- ⑥ 霧化圧 ; $2.5 \sim 3.5 \text{ kg/cm}^2$
- ⑦ 吐出量 ; ニードル回転数1.5～2.0回転
- ⑧ 霧化パターン ; $45 \sim 60^\circ$
- ⑨ ガン距離 ; 20～30cm
- ⑩ 塗回数 ; 4～6回
- ⑪ セッティング ; 5～10分
- ⑫ 強制乾燥 ; $60 \sim 100^\circ\text{C} \times 20 \sim 30 \text{ 分}$
*素材変形温度以下（ -10°C ）で加温してください。
- ⑬ 膜厚 ; 10～15 μ

(3) 使用上の注意

塗料は使用前によく攪拌してください。
2液型の反応塗料ですので塗料調合は秤量により正確に行ってください。
可使時間は $20^\circ\text{C} \times 6$ 時間が目安です。

蒸留曲線



塗膜性能



1. 試験試料

- (1) 素材：無電解Niメッキ（ポリカ／ABS）
- (2) 色調：パールシルバー
- (3) 乾燥条件：65℃×30分
- (4) 膜厚：15～20μ
- (5) 試験投入：強制乾燥後3日以上

2. 試験結果表

試験項目	試験条件・試験方法		試験成績
環境試験	耐熱試験	70℃、RH5～30% 120時間放置 基盤目付着性	100/100
	耐湿試験	60℃、RH90% 120時間放置 基盤目付着性	100/100
	低温試験	-40℃、RH5～30% 120時間 基盤目付着性	100/100
落砂摩耗性試験	炭化珪素質研削材C 粒度F36 高さ1m 角度45度 500～520g/min. 素地露出までの落砂重量		3000g 以上
摩擦強度試験	ビニロン：絹=50：50 幅15mm 長さ10mm 荷重500g 14回/min.		1000回
塗膜硬度測定	三菱ユニ鉛筆 傷つき高度測定		2H
砂消しゴム試験	LION製砂消しゴム 荷重1kg ストローク20～60mm 60往復/min.		100回
熱衝撃性試験	-20℃1時間⇒70℃1時間を1サイクルとして10サイクル後塗膜評価試験		異常なし
耐水性試験	水道水に浸漬30分後、5分以内に塗膜評価試験		異常なし
溶剤滴下試験	耐アルコール性	エタノール1級を用い滴下後72時間で白化無き事	合格
	耐ベンジン性	ベンジンを用い滴下後72時間で白化無き事	合格
耐化粧品性試験	花王アトリックスを塗膜表面に塗り、60℃、RH5～30%中に120時間放置 2時間後中性洗剤で塗膜を洗浄し塗膜評価試験		異常なし
人工汗試験	人工汗（PH4.8）を布に浸して塗装面に置き、人工汗が乾燥しない状態で荷重500g、60℃24時間放置後塗膜評価試験		異常なし
弱アルカリ試験	衣料用合成洗剤（マイパット）を5%水溶液にして塗布し、温度40℃湿度90%中に120時間放置後塗膜評価試験		異常なし
アルカリ加速試験	塗膜表面にPH13の強アルカリ（NaOH）を浸し、70℃、48時間連続放置後塗膜評価試験		異常なし

* 塗膜評価：塗膜外観、基盤目クロスカット付着性、テープピール

* 異常なし：塗膜にワレ、フクレ、剥がれ、艶引け、変色等がないこと。